



社会福祉法人
明桜会

第1期

社会福祉法人明桜会 アクションプラン 2022-2024

社会福祉法人明桜会 運営企画室

アクションプラン 2022-2024

目次

アクションプラン策定にあたって	・・・	3
これからの未来に向けて（方向性）	・・・	4
ミッション	・・・	5
コンセプト・スローガン	・・・	6
アクションプラン全体像	・・・	7
事業	・・・	8
組織・人材	・・・	9
経営	・・・	10
SDGsへの取り組み	・・・	11
明桜会の行動指針	・・・	12



【アクションプランの策定にあたって】

法人設立から22年が過ぎ、障害福祉施策・支援の在り方は大きく変わってきました。

「大地の家」開設以降、多様なニーズに応えるべく様々な特色ある事業展開を行ってきています。

今後も明桜会のミッションを基本に、地域の福祉的ニーズや社会福祉法人に求められる使命を果たすため、また職員一人ひとりが自信と誇りを持ち業務を具体化して遂行できるように「アクションプラン」の策定を行いました。

【これからの未来に向けて（方向性）】

・明石市内においても、障害者を取り巻く制度や取り組み、福祉サービス事業者の増加など、支援の選択肢は広がったものの、依然として生活していく中でのご利用者・ご家族の心配や困りごとは残っています。

今後は特に「**親なき後の問題**」「**住まいの場の確保**」について、**大きな課題として捉え取り組みを進めていきます。**

・平成28年には社会福祉法も改正され、社会福祉法人に期待される役割はますます大きくなっています。障害のあるなし・程度に関わらず、すべての人が住み慣れた明石と地域の中で「その人らしい暮らし」が実現できることを目指し、明桜会の活動を持続性のあるものにしていくことを目標に掲げ取り組んでいきます。

ミッション

= 組織が果たすべき使命、存在意義

知的障害のある人たちが、一人のかけがえのない人として豊かな生活を送ることができる地域社会を育み、その人が望む暮らしの実現に向けてご利用者の目線に立った支援の実践と体制の構築を進めていきます。

コンセプト 「ともに歩む、明日をつくる」

= 組織の目指すべき姿、価値

障害のある方やそのご家族、地域の方々とともに、その人らしさを大切にできる「明日」をつくっていきます。

スローガン 「想像し、創造しよう！ -imagine&create!」

= スタッフ一人ひとりの仕事に取り組む姿勢

障害のある方の目線や立場に立ち、自ら行動する。
この姿勢をスタッフ一人ひとりが持ち続けていきます。

アクションプラン全体像（重点領域）

1. 事業

- ・ 地域密着型の事業所運営の実践
- ・ 様々なニーズに対応できるGHの拡充 / 地域生活の支援体制の構築
- ・ 大地の家居室の個室化

本人中心支援
「その人らしい暮らし」の実現

2. 組織・人材

- ・ 組織全体のガバナンスの強化
- ・ キャリアパス制度の効果的運用
- ・ 次世代リーダーの養成・専門支援力の向上

3. 経営

- ・ 経営、財務資源の最適化
- ・ 各事業所の収益確保
- ・ 後援会のリニューアル

1. 事業

ご利用者の様々なニーズに応じた暮らしをコミュニティのなかで実現できるように「地域生活」の基盤強化を行っていきます。

①地域密着型の事業所運営の推進

- ・各事業所が地域の一員としてそれぞれのコミュニティの活動や取り組みに積極的に参画し、公益的な取組を実践していく
- ・地域の中で多様なつながりをつくり、ご利用者一人ひとりに合ったサービス体制の構築・ボランティア団体や社会資源をつないでいく

②さまざまなニーズに対応できるGHの拡充

- ・法人内GH数7カ所 → 11カ所 定員39名 → 64名（高齢医療のあいすくりーむの家群は除く）
- ・重度・強度行動障害をお持ちの利用者の暮らしを支えるGHを設置する

③地域生活の支援体制の構築

- ・GH・地域生活利用者の支援を手厚くするため居宅介護事業を開始する
- ・支援度の高い利用者対象に通所事業・ショートステイ利用時の送迎サービスを構築する
- ・地域での暮らしの困りごとを相談できる窓口の設置、サポートできる体制を整えていく

④大地の家（ご利用者）居室の個室化

- ・入所定員を削減し、施設内の完全個室化を行う（50名→30名）
- ・ショートステイ利用部屋の環境改善を行う

2. 組織・人材

長期的な法人運営のために、信頼され・成長する持続可能な組織づくりを行っていきます。

①組織全体のガバナンスの強化

- ・運営企画室が核となり、法人の重点事業推進及び各事業所の統括管理を行う
- ・GH拡充・居宅介護事業の展開を見据え、法人内事業所を機能ごとに区分けし、より専門性を高め連携しやすい組織体制づくりを行っていく（入所支援部門・通所支援部門・地域生活支援部門）

②キャリアパス制度の効果的運用と多様な福祉人材の確保

- ・各職域それぞれの役割と責任を明確にし、的確な人材の登用や配置を行う体制を構築する
- ・職員個々の将来のキャリア像の見える化を図り、自己成長・モチベーションアップにつなげる
- ・2025年問題（超高齢化社会）を見据え、多様な人材の確保に努める

③次世代リーダーの養成・専門支援力の向上

- ・事業拡大を見据え、リーダー・役職者の養成に注力していく（法人内役職者総数37名→40名）
- ・育成・キャリアアップチームが主体となり、各階層に応じた研修の機会を提供する
- ・本人中心支援を推進していくためにも、職員個々の専門支援力の向上に努める

3. 経営

地域ニーズに応えながらも持続的な法人運営を行うためには経営的安定は欠かせません。新たな制度・報酬改定の動向にスピード感をもって対応し、各事業所単位でも適切な収益確保に努めていきます。

①経営財務視点（人材・サービス・財務・情報・スピード感）の有効活用

- ・定期的に経営会議を開催し、法人・事業所の収益状況を管理者間で共有する
- ・事業拡大と併せて、既存事業の検証を定期的に行い、制度動向・報酬改定の変化に迅速に対応しながら適正な人員配置や運営費の見直しを重ねコストを最適化していく
- ・行政機関との連携・外部ネットワークへの積極的な参画に努め、客観性を担保しつつも戦略的かつスピード感を持った運営を行っていく

②明桜会後援会をリニューアル

- ・後援会活動の広報ツールの強化を行い、地域のサポーターを増やしていく
- ・個人・団体・企業等、幅広い層のサポーターを獲得し、事業発展の原動力としていく

SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

「SDGs（エスディー・ジーズ）」とは・・・

「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で決められました。

私達みんなが、誰一人取り残さず一つしかないこの地球で暮らし続けられる持続可能な世界を実現するため2030年までに達成すべき国際目標です。

社会福祉法人明桜会の活動はSDGsの17のゴールのうち、7つのゴールに密接に関係しています。

- ③ すべての人に健康と福祉を
- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑤ ジェンダー平等を実現しよう
- ⑧ 働きがいも経済成長も
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑬ 平和と公正をすべての人に
- ⑰ パートナリーシップで目標を達成しよう

事業を通じて、障害のある人とない人が相互理解を図りよりインクルーシブな社会作りに取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



明桜会職員の行動指針

①専門職としての価値観を持ち、自らの言動に責任ある行動をします。

- ・向上心を持ち、自ら学ぶ姿勢を持ちます。
- ・根拠のある支援を大切にします。

②知識・技術・価値を持ち、ご利用者の想いを第1に考え行動します。

- ・その人にとっての「幸せ」「よりよい暮らし」を考え、その人にとって何が必要なのかを理解する姿勢を持ちます。
- ・どんな場面でもご本人の意思を確認し、意思決定支援ができる環境をつくります。
- ・フォーマル・インフォーマル両方を網羅した、ご利用者の生活圏域を支える支援体制をつくります。

③地域社会の一員として、地域を支える行動を行います。

- ・ご利用者と密接にかかわる地域との間に立ち、だれもが「その人らしい暮らし」ができる地域づくりを行います。